

西日本高速道路株式会社が発行する国内最大のソーシャルボンド (発行総額 1,500 億円) の引受けについて

今般、みずほ証券株式会社（取締役社長：浜本 吉郎）は、西日本高速道路株式会社（以下「NEXCO 西日本」といいます。）が2021年8月27日に条件決定いたしました国内最大のソーシャルボンド（発行総額 1,500 億円）の引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。

NEXCO 西日本は、社会基盤である高速道路の新設・改築等を行うとともに、加速化する道路の老朽化、激甚化・頻発化する自然災害、逆走防止などの安全・安心対策といった社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献することを基本姿勢としており、2021年6月、本債券を発行するための枠組みであるソーシャル・ファイナンス・フレームワーク^{※1}について、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則 2021^{※2}に適合する旨、株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しています。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場におけるSDGs債の専門的な情報収集、お客さまのSDGs債ストラクチャリングを支援するため、2017年にサステナブル・ファイナンス・デスク、2019年にサステナブル・ファイナンス室を設置しました。その後、2021年から、これらの取り組みをさらに強化・拡大するため、サステナビリティ推進部を新設しています。

これらの取り組みにより、当社はソーシャルボンド等の引受けなど、さまざまなお客さまのSDGs債の起債を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客さまの社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。

当社は、日本の円建て債券市場でトップティアの取引シェアを確保しています。また、海外市場では、お客さまのさまざまなニーズに応えるためのクロスボーダー債券取引を強化し、実績も着実に増加しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客さまの金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、SDGs債をはじめとする債券の引受けを一層推進し、最良のサービスを提供してまいります。

以 上

※1 ソーシャル・ファイナンスとは、調達資金の用途が、社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）を有する負債性資金調達全般（ボンドやローンを内包）のこと。

※2 ソーシャルボンド市場の秩序だった発展を促進するための自主的な手続きに関するガイドラインとして国際資本市場協会（ICMA）より、2021年6月に公表されたもの。